



学校だより

深谷

令和8年6月30日

7月号

横浜市立深谷小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya>

チームの力が未来をつくる

校長 杉田 仁

現在、北中米で開催されている FIFA ワールドカップでは、世界中の国や地域の代表選手たちが集まり、熱戦を繰り広げています。世界の強豪国を相手に粘り強く戦う日本代表選手の姿は、見ている人に感動と勇気を与えてくれます。ワールドカップに出場する選手たちは一人ひとりが高い技術をもっていますが、試合を見ていると、それ以上に「仲間と力を合わせること」の大切さが伝わってきます。

サッカーは一人ではできないスポーツです。どんなにシュートが得意な選手でも、どんなに足が速い選手でも、一人だけで勝利することはできません。ゴールを決める選手が注目されますが、その前にはパスをつなぐ選手がいます。相手の攻撃を防ぐ選手がいます。そして、ベンチから仲間を支える選手やスタッフの存在もあります。それぞれが自分の役割を果たし、互いを信頼し合うことで、チームは大きな力を発揮します。

学校生活もサッカーのチームとよく似ています。教室では、発表が得意な子もいれば、友達の話じっくり聞くのが得意な子もいます。運動が得意な子もいれば、絵を描いたり本を読んだりすることが得意な子もいます。みんな違ったよさをもっています。

大切なのは、「自分には何ができるか」を考えながら、「友達のよさも認めること」です。自分の力を発揮するだけでなく、友達を応援したり、困っている人を助けたりすることで、学級や学校というチームはよりよいものになります。

今月行われた日光修学旅行でも、6年生は仲間と協力しながら活動する姿をたくさん見せてくれました。また、なかよし班活動では上学年が下学年を気遣い、下学年は上学年を信頼して行動しています。本校の子ども達も、サッカー日本代表に負けにくいぐらいの素晴らしいチームワークを発揮しています。

サッカーの試合では、うまくいく場面ばかりではありません。失敗したり、失点したりすることもあります。しかし、日本代表の選手たちは下を向きません。仲間同士で声を掛け合い、次のプレーに向かいます。その姿は、私たちに大切なことを教えてくれます。

それは、「失敗しても挑戦を続けること」です。学校生活でも、学習面で思うように成果が上がらなかつたり、友達との関わりで悩んだりすることがあります。しかし、その経験を通して人は成長します。大切なのは失敗しないことではなく、失敗から学び、再び挑戦することです。

ワールドカップで日本代表が示してくれているのは、決して特別なことではありません。「仲間を信じること」「自分の役割を果たすこと」「失敗を恐れず挑戦すること」。これは学校生活にも通じる大切な姿勢です。

これから迎える夏休みまでの一日一日を大切にしながら、子ども達一人ひとりが自分らしく輝き、学級や学校というチームの中でさらに成長していけるよう、教職員一同支援してまいります。保護者・地域の皆様におかれましても、引き続き温かいご理解とご支援・ご協力をお願いいたします。